

## 付録 A 故障診断

### 1. 設定ユーティリティー

LAN カード・オプションの故障診断は、TCP/IP 環境の方は TELNET で、NetWare 環境の方はテスト印刷で、エラーコードを見ることで行うことができます。詳細は、「第 6 章 設定ユーティリティーの使用方法」をご覧ください。

### 2. テストスイッチ

#### 設定の印刷

LAN カード・オプションには本体側面にテストスイッチがあります。このスイッチを押すことにより、LAN カード・オプションに接続されたプリンタに、LAN カード・オプション本体に設定された内容を印刷することができます。

LAN カード・オプションに接続されたプリンターが印刷可能（オンライン）な状態でテストスイッチを 1 秒間押しつづけてください。

印刷された内容が、お客様の設定した内容になっているか確認してください。

**【ご注意】印刷データはテキスト（ASCII）データですので、一部のプリンターでは、正常に印刷されない場合があります。**

#### 設定の初期化

テストスイッチを押しながらプリンタの電源を入れ、そのまま 15 秒以上テストスイッチを押し続けると、LAN カード・オプション本体内部の設定は工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。トラブルの原因が不明で、初めから設定をやり直したい場合にご利用ください。

**【ご注意】デフォルト設定(工場出荷時)の状態は、第 6 章の表 6-2 をご覧ください。**

## 付録 B バージョンアップ

LAN カード・オプションは内部にフラッシュ ROM を搭載していますので、プログラムモジュールを入手することにより、ファームウェアプログラムのバージョンアップが簡単に行えるようになっています。

バージョンアップは、ネットワークケーブルを通じてバージョンアッププログラムを LAN カード・オプションにダウンロードします。

**【ご注意】バージョンアップユーティリティは Windows 用のみです。また、このユーティリティは通常「Network Utility」から起動されるものですので、ご使用方法等については「Network Utility」のマニュアルをご覧ください。**

なお、バージョンアップを行う前に現在のバージョンを「telnet」や「テスト印刷」でご確認ください。

## 付録C 製品仕様

	項 目	仕 様
1	L A Nインターフェース	Ethernet V.2(IEEE 802.3) 10BASE-T/100BASE-TX
2	プリンタインターフェース	IEEE1284
3	供給電源	DC5V ± 5%
4	外形寸法	168.4 × 97.5 × 36.5[mm] 212 × 128.8 × 52.8[mm] ( 5584-K14 用 )
5	重量	120 g / 500g ( 5584-K14 用 )
6	消費電力	2.5W
7	使用周囲温度範囲	5 ~ 50
8	保存周囲温度範囲	- 20 ~ 60

## 付録 D OS/2 環境での使用に関して

### 1、OS/2 環境での機能

OS/2 環境からは以下のような印刷が可能です。

- 1) OS/2 の LPPORTD
- 2) LAN Manager 印刷 (下位プロトコルに NetBEUI を使用)
- 3) LAN Manager 印刷 (下位プロトコルに TCP/IP を使用)  
(LAN Manager については「第 5 章 LAN Manager」をご参照下さい)

以上の機能について、設定方法等の手順を以下に記します。

### 2、設定手順

#### 2-1 LPPORTD を使用した印刷

OS/2 が TCP/IP プロトコルを使用可能な状態にします。(OS/2 のマニュアルを参照し、MPTS で TCP/IP プロトコルの導入を行いません)

LAN カード・オプションに IP アドレスを割り当て、OS/2 と通信可能な状態にします。  
(LAN カードオプションへの設定方法については「3.1.3. arp、ping コマンドでの設定」  
をご覧ください)

OS/2 の TCP/IP 設定において LPPORTD を自動起動するように設定します。

必要があれば OS/2 のプリンターテンプレートを使用してプリンターを作成し、プリンタードライバを導入します。(出力ポートは LPT1 を選択します)

設定するプリンターの上にマウスポインターを移動し、右ボタンをクリックして「設定 (OS/2 Warp V4 では「プロパティ」) を選び、設定画面を開いて下さい。

「出力ポート」タグに表示されている LPD アイコンの中から、設定する LPD アイコンをダブルクリックして下さい。

LPD 設定画面が表示されたら “LPD Server” へ LAN カード・オプションの IP アドレス、“LPD Printer” には「lpt1」を記述して OK ボタンを押して下さい。

「待ち行列オプション」タグ内の「スプーリング中に印刷」のチェックを外し、「プリンター固有の形式」をチェックしてください。

リクエスターより設定したプリントキューへテスト印刷を行って下さい。

(別途プリントキューの共有設定を行う場合、OS/2 のマニュアルを参照して下さい。)

以上で OS/2 の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上の LAN カード・オプションが接続されたプリンターから印刷できます。

## 2-2 LAN Manager (下位プロトコル NetBEUI) を使用した印刷

OS/2 が NETBIOS プロトコルを使用できる状態にします。(OS/2 のマニュアルを参照し、MPTS を使用して「IBM OS/2 NetBIOS」プロトコルの導入を行ないます)

LAN カード・オプションへの LAN Manager 設定を行ないます。(「第 5 章 LAN Manager」をご参照下さい) プロトコルには NetBEUI を選択します。

OS/2 上のプリンターへ設定します。(「5.1.5. OS/2 での使用方法」をご参照下さい)

ドライバの設定で「待ち行列オプション」タグ内の「スプーリング中に印刷」のチェックを外し、「プリンター固有の形式」をチェックしてください。

以上で OS/2 の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上の LAN カード・オプションが接続されたプリンターから印刷できます。

## 2-3 LAN Manager (下位プロトコル TCP/IP) を使用した印刷

OS/2 が NetBIOS over TCP/IP プロトコルを使用できる状態にします。(OS/2 のマニュアルを参照し、MPTS を使用して「IBM OS/2 NetBIOS over TCP/IP」プロトコルの導入を行ないます) その際、必ず「3.5 LAN Manager をご使用になる場合の注意事項」をご参照ください。

LAN カード・オプションへの LAN Manager 設定を行ないます。(「第 5 章 LAN Manager」をご参照下さい) プロトコルには TCP/IP を選択します。

OS/2 上のプリンターへ設定します。(「5.1.5. OS/2 での使用方法」をご参照下さい)

ドライバの設定で「待ち行列オプション」タグ内の「スプーリング中に印刷」のチェックを外し、「プリンター固有の形式」をチェックしてください。

以上で OS/2 の設定は完了です。アプリケーションから印刷すると、ネットワーク上の LAN カード・オプションが接続されたプリンターから印刷できます。

### 3、OS/2 からの印刷に関するトラブルシューティング

#### 3.1 LAN カード・オプションに印刷できない

(印刷障害のあった場合、最初にここをお読みください)

以下の項目を確認してください。各項目は正常に動作させるための確認事柄です。

プリンターの電源は入っていますか？

LAN ケーブルは正しく接続されていますか？

PC の LAN アダプターやプロトコル設定など OS/2 側の設定は正しいですか？

LAN カード・オプション側の使用するプロトコルが「Enable」になっていますか？

LAN カード・オプションに通信する為のプロトコルが「Enable」になっていないと、そのプロトコルで印刷をする事ができません。

プリンタードライバの「待ち行列オプション」タグ内で「"スプーリング中に印刷"のチェックを外す」「"プリンタ固有の形式"をチェックする」設定になっていますか？

この設定でないと正しく印刷できない事があります。

LAN カード・オプションの動作は正常ですか？

LAN カード・オプションの LED で現在の動作状況を確認できます。

LAN カード・オプションが接続されているプリンターが使用中ではありませんか？

他の PC から LAN カード・オプションに印刷している時は印刷できません。他の PC からの印刷が終了するまでお待ち下さい。

#### 3.2 LPRPORTD で LAN カード・オプションに印刷できない

以下の項目を確認してください。各項目は正常に動作させるための確認事柄です。

LAN カード・オプションの IP アドレス等は正しく設定されていますか？

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルータアドレスが正しく設定されていないと印刷できません。

LPRPORTD にエラーは発生していませんか？

(LPRPORTD や OS/2 の再起動を行ってもこのようなエラーが発生している時、OS/2 の PTF を適用する必要があります。「その他の OS/2 印刷関連問題」をご覧ください)

LAN カード・オプションに DHCP、WINS 等の設定をしている時、これらのパラメータが正しく設定されていますか？

### 3.3 LAN Manager(下位プロトコルに NetBEUI を指定)で LAN カード・オプションに

#### 印刷できない

LAN カード・オプションの設定は間違っていますか？

LAN カード・オプションの LAN Manager 設定項目の「LAN Manager Protocol」が「Enable」になっており、更に「Protocol」項目が「NetBEUI」になっている事をご確認下さい。

PC の LAN アダプターやプロトコル設定など OS/2 側の設定は正しいですか？

OS/2 が NETBIOS プロトコルを使用できる状態になっていないと、LAN カード・オプションと通信ができないため印刷できません。

プリンタードライバ内の設定は正しいですか？

プリンターのプロパティ内「待ち行列オプション」項目で「スプーリング中に印刷」がチェックされている場合、このチェックを外し、「プリンター固有の形式」にチェックをして下さい。

### 3.4 LAN Manager(下位プロトコルに TCP/IP を指定)で LAN カード・オプションに印刷できない

LAN カード・オプションの設定は間違っていますか？

LAN カード・オプションの LAN Manager 設定項目の「LAN Manager Protocol」が「Enable」になっており、更に「Protocol」項目が「TCP/IP」になっている事をご確認下さい。

LAN カード・オプションの IP アドレス等は正しく設定されていますか？

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトルータアドレスが正しく設定されていないと印刷できません。

PC の LAN アダプターやプロトコル設定など OS/2 側の設定は正しいですか？

OS/2 が TCP/IP プロトコルを使用できる状態になっていないと、LAN カード・オプションと通信ができないため印刷できません。

プリンタードライバ内の設定は正しいですか？

プリンターのプロパティ内「待ち行列オプション」項目で「スプーリング中に印刷」がチェックされている場合、このチェックを外し、「プリンタ固有の形式」にチェックをして下さい。

### 3.5 LAN Manager をご使用になる場合の注意事項

以下の初期設定ファイル内の「XXXXXX」部を確認し、必要に応じて書き換えてください。

ご確認頂くファイル

C:\¥IBMLAN¥IBMLAN.INI

ご確認頂く内容

[Networks] 項目内

NETX = XXXXXX\$, ..... (XXXXXX には以下の何れかが記述されます)

NETBEUI (LAN Manager を下位プロトコル NETBEUI で使用する場合)

tcpbeui (LAN Manager を下位プロトコル TCP/IP で使用する場合)

特に LAN Manager を下位プロトコル TCP/IP で使用される場合には、この初期化ファイルの確認が必要です。

### 3.6 印刷ジョブの削除/取り消しを行なった時に印刷ジョブが詰まる

印刷中ジョブの削除/取り消しを行なった場合、印刷ジョブがプリントキュー内に詰まる場合があります。この場合、以下の手順で削除作業を行なってください

プリンターの電源を入れ直す。(ジョブが消えない場合へ)

LPRPORTD または LAN リクエスターを再起動する。(ジョブが消えない場合へ)

OS/2 の再起動を行なう。

### 3.7 OS/2 Warp V4 の Lprportd で印刷が出ない

(CSD 等全く適用されていない状態の) OS/2WarpV4 の Lprportd でご使用になる場合、MPTS および LPRPORTD に以下のレベルのものが適用されていないと正常に印刷できません。

(以下は 2000/11/09 現在の情報です)

Lprportd : IC18841

<ftp://ftp.software.ibm.com/ps/products/tcpip/fixes/v4.0os2/latest/apps/lprfiles.exe>

MPTS : WRJ8423

[ftp://ftp.software.ibm.com/ps/products/mpts/fixes/japanese/wrj8423\\_conv/](ftp://ftp.software.ibm.com/ps/products/mpts/fixes/japanese/wrj8423_conv/)

TCP/IP V3.0/V3.1 用最新モジュール(2000/11/09 現在)

TCP/IP ver3.0用

<ftp://ftp.software.ibm.com/ps/products/tcpip/fixes/v3.0os2/latest/print/内のファイル>

TCP/IP ver3.1用

<ftp://ftp.software.ibm.com/ps/products/tcpip/fixes/v3.1os2/latest/print/内のファイル>

### 3.8 LPRPORTD からの印刷で SYS3175 エラーが発生する

OS/2 の LPRPORTD (Ver2.0) の問題で「SYS3175 エラー」により印刷できないことがあります。この場合 IBM より PTF(IC12662, IC14352)を入手して適用してください。(ただし、この PTF を適用すると LPRPORTD での印刷が遅くなる事があります)

この PTF 適用後の作業として

プリントキューの出力ポート内”LPD Server”を、IP アドレスではなく HOST 名で設定する。(OS/2 内の HOSTS ファイルに LAN カード・オプションの IP アドレスを設定する必要があります)

LPRPORTD.EXE の実行時、「-N」パラメータを追加する。

を行なってください。

## 4、その他の OS/2 印刷関連問題

- ・ プリントジョブがプリントキュー内に詰まってしまう場合がある
 

OS/2 J2.11	PJ22668
OS/2 J2.11 for SMP	PJ22667
- ・ プリントジョブを削除すると、その後の印刷ができなくなる
 

OS/2 Warp V3	CSD No. WX00903 , PJ21729
OS/2 Warp Connect	CSD No. WX00903 , PJ21729
- ・ 2 つのプリントキューの印刷データが混ざって印刷される
 

OS/2 Warp V3	CSD No. MJC0003 , PJ16847
--------------	---------------------------
- ・ TCP/IP 印刷で"SYS3175"エラーが発生する
 

OS/2 Warp Server V4	IC12662 , IC14352
---------------------	-------------------

以下に、98/6/18 現在の日本 IBM から提供されている OS/2 の印刷関係の CSD 情報を記述します。CSD の適用については、現在使用している OS/2 のバージョンによって異なりますので十分に注意して適用して下さい。また、PTF/CSD 等に関しては日本アイ・ピー・エム（株）にご確認頂くようお願い申し上げます。

- WX00002 PJ19696 :PC720 上で印刷オペレーションを行うと、Trap-6 やシステム・ハングを生じることがある。
- WX00002 PJ20295 :セパレーター・ファイルを使用するとトラップする。
- WX00002 PJ20296 :5584 で A3 横のイメージが正しく印刷されない。
- WX00903 PJ17192  
PJ17190  
PJ18217 : WIN-OS/2 で A ドライブから印刷すると複数のジョブがスプールされる。
- WX00903 PJ19995, PJ20118 : IBMNULL プリンター・ドライバー(prde\_GetValFromText + da) でトラップする。
- WX00903 PJ20212 :平成明朝フォントの印刷が正しくない。
- WX00903 PJ20295 : セパレーター・ファイルを使用すると IBMPG55P プリンター・ドライバーでトラップする。
- WX00903 PJ21729 : 複数のスプーラーからプリントしているとスプーラーがハングすることがある。
- WX03005 PJ23549: 「ジョブの属性」ボタンを押すとシステムがハングする。
- WX03005 PJ23804: プリントのパフォーマンスが非常に悪い。
- WX03005 PJ24149: ゴミ・データがプリントされる。
- WX03005 PJ24315: スプーラーの印刷優先順位を構成できない。
- XR\_W008 PJ16452:印刷時、又はフォントを使用/変更すると PMMERGE.DLL の 1BD6C675 で SYS3175 が出る。
- XR\_W008 PJ17344:ジョブが印刷を行っている時にポートに直接印刷すると、メッセージ SYS1799 が出る。
- XR\_W008 PJ17557:WARP の PM アプリケーションでシステム・セマフォがポストされない(クリアされている)ことがある。またそれにより PM アプリケーションで名前付きパイプがハングする。
- XR\_W008 PJ18771: プリンター・オブジェクトを削除するとトラップ E が発生する。
- XR\_W010 PJ19447:セパレーター・ページに正しい時刻が印刷されない。
- XR\_W010 :印刷時に PMMERGE.DLL (FM\_CREATEPSEUDOFONT)の 0004:0006C855 で 1BD6C855 の SYS3175 が出る。
- XR\_W010 PJ24262:名前付きパイプ・バッファの一部が失われる。
- XR\_W011 PJ17192HPV11 - ドライブ A: から印刷すると、複数の印刷ジョブが生成されてしまう。
- XR\_W011 PJ20042HPV11 - ジョブが印刷を行っている時にポートに直接印刷するとメッセージ SYS1799 が出る。
- XR\_W011 PJ20044FPV11 - ジョブが印刷を行っている時にポートに直接印刷するとメッセージ SYS1799 が出る。
- XR\_W012 PJ20497:印刷のための座標がプレゼンテーション・スペースに収まらない場合、DISPLAY.DLL でトラップする。
- XR\_W015 PJ20247: IBMNULL.DRV が原因で印刷ジョブの最後の行が繰り返し印刷される。
- XR\_W016 PJ18449:LPT1X のように 1 で開始されたプリンター・ポートを削除できない。
- XR\_W021 PJ22470:別名フォルダーでプリンターを削除し再作成した後、メッセージ SYS2070 が出る。
- XR\_W030 PJ24315:出力ジョブ用の優先順位設定が機能しない。このジョブは省略時値 50 をもっている。
- XR\_W030 PJ24477:プリント・サーバーがプリントを停止する。
- XR\_W030 PJ24262:名前付きパイプ・バッファの一部が失われる。